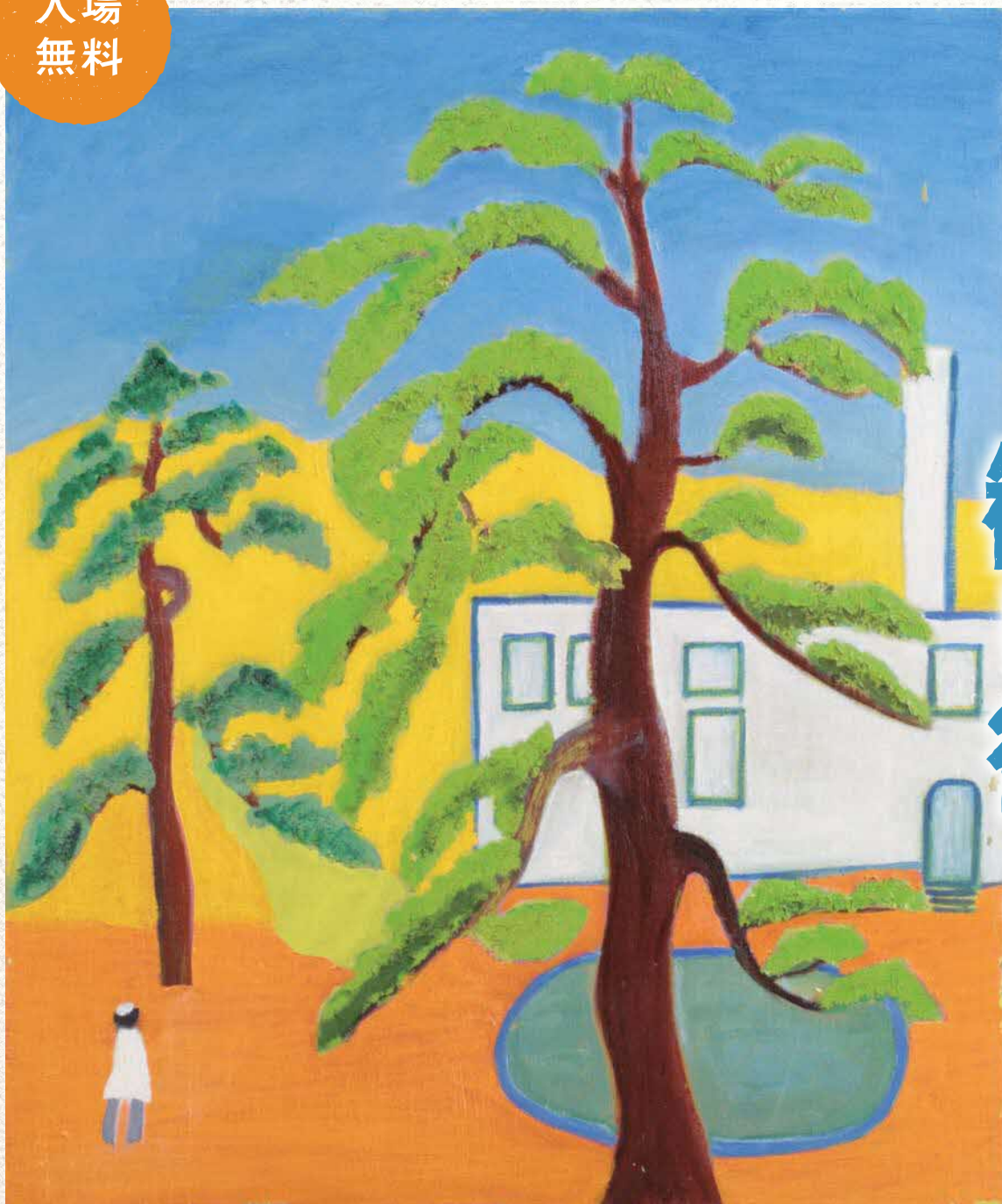


入場
無料

vol.23 /

「知らない」を 観に行こう。

国立療養所菊池恵楓園
絵画クラブ金陽会作品展



《松》 森 繁美 2002年 油彩、キャンバス 60.6×72.7cm

会期.1

会期.2

日時

2025年

11月21日 金 ~ 24日 月

10:00~17:00

日時

2025年

12月3日 水 ~ 7日 日

10:00~17:00

会場

イオンモール熊本
2階中央 イオンホール

熊本県上益城郡嘉島町上島字長池2232

会場

荒尾総合文化センター
会議室2

熊本県荒尾市荒尾4186-19

主催：熊本県

協力：一般社団法人金陽会、公益財団法人西日本新聞文化財団、国立療養所菊池恵楓園、国立療養所菊池恵楓園入所者自治会（五十音順）

後援：荒尾市、荒尾市教育委員会、嘉島町、嘉島町教育委員会



国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会は、一人の看護師の呼びかけにより1953(昭和28)年に発足した絵画クラブです。特定の師を持たず、独学で描かれた作品は900点以上にもおよび、それぞれの遠い記憶の中にある故郷の風景や、家族・友人への想いを込めた独自の作品が数多く生みだされました。

熊本県では、ハンセン病問題について、正しい理解がより一層進むよう、文化芸術という切り口による啓発として、この貴重な作品を活用し、2019(令和元)年に絵画パネルを、2020(令和2)年には作品集「絵の中のふるさと」を、そして、2021(令和3)年には「菊池恵楓園散策マップ」を制作し、周知を図ってまいりました。

一方で残念ながら、この金陽会の活動や菊池恵楓園のことをご存じない方も少なからずいらっしゃいます。

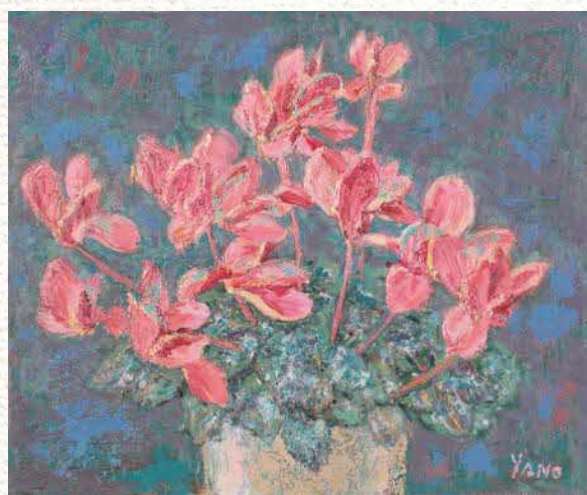
そこで、より多くの方に金陽会の作品に触れていただき、様々な苦難を経験されてこられたハンセン病回復者の皆様の作品に込められた想いに寄り添い、この問題について、ともに考えていただきたいとの願いを込めて、2022(令和4)年度から県内各地で作品展を実施しております。

皆様にとって、ハンセン病問題、そして、そこから学ぶべき教訓とは何かを考えていただく契機となりますことを心より願っております。

主催者



《深山の秋》吉山 安彦 2013年 油彩、キャンバス 145.5×112.1cm



《シクラメン》矢野 悟 2000年 油彩、キャンバス 37.9×45.5cm



《タイトル不明》奥井 喜美直 2002年 油彩、キャンバス 53.0×65.2cm

〈問合せ先〉 熊本県健康づくり推進課 Tel.096-333-2210

*この企画は、厚生労働省の委託により公益財団法人笹川保健財団が実施しています2025年度「ハンセン病対策促進事業」の助成を受けて開催します。